

平成16年度第2回金沢市入札制度評価委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成17年2月22日(火) 金沢市役所 会議室(兼六)	
委員 (委員数3名) (出席数3名)	委員長 鴨野 幸雄(金沢大学名誉教授) 委員 春成 保(公認会計士) 委員 川村 國夫(金沢工業大学教授)	
次第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 工事に係る入札・契約の手続きの運用状況等の報告 平成16年度の発注工事について(総括) 発注工事に係る落札率について 工事成績評点について 入札参加資格停止等の運用状況について 平成16年度本委員会からの意見及び本市における措置状況 4 報告に係る審議 5 抽出案件に係る審議 6 閉会	
審査対象期間	平成16年4月1日～平成17年1月31日(抽出案件は、9月1日～1月31日)	
抽出案件	7件	
公募型指名競争入札	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・観光会館オーケストラビット等改修工事 ・平成16年度大浦ポンプ場3号汚水ポンプ電気設備工事
指名競争入札	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・橋場町他2町地内配水管(鉛管)及びガス管改良工事(16-1工区) ・鈴見新庄線道路築造工事1工区及び新野田配水池配水本管布設工事(1工区)
随意契約	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢湯涌茅文化継承施設(仮称)建設工事
委託業務	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢能楽資料館(仮称)建設工事(建築工事)基本及び実施設計業務委託 ・平成16年度城北水質管理センター処理水再利用送水施設
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による報告 又は意見の具申	平成16年度の発注工事に係る入札・契約手続きの運用については、概ね適正に行われていると判断する。	

(お問合せ) 〒920-8577 金沢市広坂1-1-1
 金沢市総務部監理課
 電話: 076-220-2101

意見・質問	回答
<p>1 工事に係る入札・契約手続きの運用状況等について</p> <p>工事成績と落札率との相関関係はどうか。</p> <p>工事の品質を維持しながらも、落札率が低下しているといった良い傾向が見られるが、その原因はどう考えているのか。</p> <p>今年度、同一業者が最多では3回最低制限価格にて落札しているが、資金繰りに困っている等の理由があるのか。また、これら最低制限価格で落札した業者のうち、倒産した業者はいないか。</p> <p>安い価格での受注は、危険性も伴う。過去に最低制限価格で落札した業者の今後の推移を見守るべきでないか。</p> <p>主観点数に重きを置いたことを評価する。その中で活用されている工事成績評点についてであるが、業種や工種によって傾向が異なるのか。</p> <p>民間の方々に負けないように技術職員の技術力向上を目指してほしい。</p> <p>市の職員が現場を知らないということになっていないか。</p> <p>優良工事を一つのモデルにして、ケーススタディを行えば、市監督員もさらに自信を持って評価できるのではないか。</p> <p>指名停止等不名誉な事項を公表することについて、どのように考えているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事成績と落札率との関係を調査したものはありませんが、ご指摘の点については、次回の委員会までに調査し、報告したいと思っております。 ・ 業者間の競争が激化していることが考えられます。特に電気工事が顕著ですが、全国的に発注件数が少ないため、競争が激しくなっているのではないかと考えています。工事件数が減っているのに業者数は変わっていないため、受注競争が非常に激しくなっているということを如実に表しているようです。 ・ 今年度の対象業者については、倒産等による契約解除のケースはありません。また、本市では、前払金保証会社から信用情報を入手するとともに、2、3ヶ月ごとに市税の滞納調査を実施し、納付状況を確認しており、滞納があれば指名を控えています。 ・ 今後の推移を見守るとともに、工事の監理にも十分気をつけていきたいと思っております。 ・ 業種による大きな差はありませんが、できあがった物を据え付けることが多い管や電気等の設備工事関係は全般的に80点以上が多い傾向があります。土木工事については、同一業者が続けて高得点をとる傾向もあります。また、評価に当たる監督員、検査員のスキルアップについても努めていきたいと考えています。 ・ 技術職員の研修会を実施しています。また、職員自らが工事の設計を行うための設計ルームも開設しています。自ら設計することで評価する目も養われてくると考えています。 ・ 設計書の作成に時間をとられ、現場確認・管理がおろそかになるという現実があります。こうした現実を是正するために、職員自らが大きな物件についても現場を確認して設計を行うことにより、民間の方に負けないような技術力の向上を目指していきたいと考えています。 ・ ご指摘の趣旨に沿った実地研修を17年度に予定しています。 ・ 公表することが抑止力になる場合もあります。また、評価についても、公表に耐えられるものが必要ですので、絶えず信頼されるよう努力が必要と考えています。お互いに切磋琢磨をしていきたいと思っております。

意見・質問	回答
<p>2 委員が予め抽出した工事に係る業者選考等の経緯</p> <p>観光会館オーケストラピット等改修工事</p> <p>この工事は県外大手と地元業者の構成による共同企業体（JV）を結成させる公募型指名競争入札としているが、その趣旨について教えてほしい。</p> <p>JVの組み合わせは、市から指定したもののか。</p> <p>落札率が高いが、JVが原因か。</p> <p>今回の工事のJVの構成比率は70%と30%だが、各50%のケースはあるのか。</p> <p>平成16年度大浦ポンプ場3号汚水ポンプ電気設備工事</p> <p>この工事は大手電気メーカー対象の単独発注としているが、地元の業者では施工できないのか。また、応募したのは、4社だけなのか。</p> <p>橋場町他2町地内 配水管（鉛管）及びガス管改良工事（16-1工区）</p> <p>土木工事も含まれている内容だが、管工事業者と土木工事業者への発注の分けを教えてください。</p> <p>管工事業者への発注規模の上限が3,000万円としている理由は。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公募の条件等は個々の工事ごとに判断しています。本件については天井の高いホール施設という特殊な工事であり、技術的には県外大手業者が対象になるものの、ノウハウの習得や技術力の向上・継承を期待し地元業者とのJVとしたものです。なお、従来から地元業者で対応できるものについては、地元で発注しています。 ・ 自由結成方式です。 ・ 入札額については、入札時の経済情勢、工事の種類・規模、難易度、落札意欲、価格競争力等の諸条件が複雑に絡み合って形成されるものなので、JVだからという訳ではないと思います。また、今回の工事には設備工事が含まれているため、下請け業者を使わなければ施工できないことも落札率が高い要因になっている可能性があります。 ・ 本市では、2社JVの構成員の出資比率は最低でも30%としており、ご指摘のケースもあり得ますが、実例としてはありません。通常は代表者が過半数を出資しています。 ・ 本件については、工事費のほとんどが高圧配電盤や高圧トランスの製作といった工場製作で占められており、地元業者が入る余地がないため、大手メーカーへ単独発注としました。また、9社の応募が可能と想定していましたが、実際に応募があったのは4社のみでした。 ・ 企業局の基準では、設計額が3,000万円以下の場合は管工事業者に、3,000万円を超えると土木工事業者に発注しています。 ・ 管工事業者の育成という観点から、過去から発注金額を上げてきて、今は3,000万円となっています。各業者の土木工事の格付、監理技術者数、特定建設業の許可等の現状を考え、3,000万円としています。

意見・質問	回答
<p>鈴見新庄線道路築造工事 1 工区及び新野田配水池配水本管布設工事（1 工区）</p> <p>工区は、どのように分けているのか。</p> <p>コスト削減の点からも早期供用開始を目指してほしい。</p> <p>金沢湯涌茅文化継承施設（仮称）建設工事</p> <p>金沢建築事業協同組合と大手建設業者との共同企業体へ発注したのはどうしてか。</p> <p>金沢建築事業協同組合は、どのような組織か。</p> <p>今回の工事には、地元の職人が何人くらい参加しているのか。</p> <p>組合に対して特定建設業の許可を取るよう勧めるべきでないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の道路の通行等の影響について、地元の方々と協議を行い工区を分ける場合や、予算の関係で分ける場合もあります。 ・ 用地買収も進んでおり、17年度末の供用開始に向けてがんばっていきたいと思います。 ・ 当該協同組合は特定建設業の許可がなく、請け負える工事規模に限界があるため、文化財修復に全国の実績をもつ大手業者とのJVとしました。なお、組合に対しては、21世紀美術館のお茶室の工事を単独発注をしています。伝統技術継承のためにも組合には多くの仕事を与える場をつくっていくことも必要 ・ 金沢市近郊の工務店55社により結成されています。 ・ 現在は、材料の修復を行っていますが、3,4人が参加しています。組立の段階になれば最大10人くらいの参加が見込まれます。主に、職人大学の修了生の方です。 ・ 専属の職員も必要になってくると思われますが、それに見合うだけの受注が常にあるかは疑問です。しかし、市の施策として、職人大学の修了生がその力を発揮する場を作ること、大切であると考えています。
<p>金沢能楽資料館（仮称）建設工事（建築工事）基本及び実施設計業務委託</p> <p>平成16年度城北水質管理センター処理水再利用送水施設実施設計業務委託</p> <p>両案件とも落札率が比較的低いが、設計業務の積算の仕方について教えてほしい。</p> <p>3 その他の意見</p> <p>今後とも、情報公開を進めながら、入札制度の公正・公明を図ってほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の積算基準に基づいています。入札結果については何とも言えませんが、各コンサル業者が有するスタッフの熟練度・ノウハウの蓄積、落札意欲等が影響しているのではないかと考えます。ただし、市としては、受注の公平性の観点から、誰が受注しても業務ができるように積算をしており、特定のノウハウを蓄積した業者を想定した積算は難しいと考